

フードバンク

はぐくみまい

育米

2020/07/15

令和4年度
夏休み

配布量

米：145KG

子育て世帯に米を配布

日本の子どもの貧困率は1980年代から上昇傾向にあり、今日では実に7人に1人の子どもが貧困状態にあるとされています。また、新型コロナウイルスの蔓延による日本の経済への打撃は、子育て世帯にも多大なる影響を及ぼしています。

そこで、高根沢町社会福祉協議会「地域支えあいセンターまるっと」では、夏休みを前に「育米（はぐくみまい）」事業を行いました。

育米は、米どころ高根沢の農家の方々から“フードバンクたかねざわ”に寄付していただいたお米を活用して、給食のない学校長期休業中の子どもたちが昼食をしっかりと食べられるように、希望する子育て世帯にお米をお渡しする事業です。

今回の育米では、11世帯の方にお米をお渡しいたしました。

子どもたちが、未来を自由に描くことができますように。この育米は、人から人へ想いをつなげ、地域のみんなで子どもたちを育ていくための取り組みです。

～利用者の声～

- 「こどもがたくさんお米を食べるので助かります」
- 「コロナの局面でも家計の支えになりました」
- 「助けてくださる方がいるということが励みになります」



フードバンクへ寄付されたお菓子を一緒にお渡ししました

育米のためにたくさんの寄付をいただきました。皆様のご協力に感謝いたします。

フードバンクへの寄付を募っています

社会福祉協議会では、ご家庭で余っている食料品や日用品を集めています。寄付された品物は、様々な理由で生活に苦しんでいる人のもとへ届けられます。

- お米●インスタント・レトルト食品●缶詰・瓶詰●調味料・油
 - のり、ふりかけ、お茶漬け●乾麺(パスタ、うどん、そば、そうめん等)
 - 飲料、菓子 ●生活必需品(シャンプーやせっけん、洗剤など)
- ※常温保存可能で、賞味・消費期限の表示があり、1か月以上あるもの
※未開封のもので、包装や外装、食品に破損がないもの
※生鮮食材、冷凍・冷蔵食品、酒類はお預かりできません。

【問合せ】高根沢町社会福祉協議会 地域支えあいセンターまるっと

〈電話〉 028-612-6440 〈メール〉 sasaeai@takashakyo.jp

